

第116号



輪中の郷 おたっしや通信

社会福祉法人 弥富福祉会

特別養護老人ホーム 輪中の郷
指定居宅介護支援事業所 輪中の郷
デイサービスセンター 輪中の郷
弥富市デイサービスセンター
弥富市南デイサービスセンター
わじゅうの家 結い

〒498-0039
愛知県弥富市大藤町5番地3
TEL (0567) 65-5531
FAX (0567) 65-5536
E-mail info@yatomifukushikai.com
URL http://yatomifukushikai.com

◆はじめに



今年度の取り組み2025

施設長 伊藤 公一

日頃は、社会福祉法人「弥富福祉会」の事業運営にご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。

法人運営に関しては、3つの重点取り組み施策を中心に、計画の2年目、ホップ・ステップ・ジャンプのステップの年での目標達成に向けてより具体的な実践をしていきます。また、各事業の効率化を図りながら、「弥富市第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画」に沿って、地域のニーズをふまえた実践し、信頼され、親しまれる法人となるよう努めてまいります。

3月に行われた理事会・評議員会で承認された今年度の取り組みは次のとおりです。

※重点取組施策

(2024年度～2026年度の3年間)

一、口腔ケア・認知症ケア・看取りケアを中心に、利用者の生きがいに沿ったケアを行います

二、「KAI GO(介護)」の魅力を発信し、職員一人ひとりが楽しんで働くことができる職場

環境をつくります。

三、SDGsの取組を行い、地域の共生社会実現に貢献していきます。

※SDGs「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略

◆法人本部

事業の発展を支えるため、人材確保に引き続き注力し、職員が働きやすい環境整備(組織の見直し)をすすめていきます。そして、生産性の向上、労働力の確保、技術の継承等、法人内外で働く高齢者(アクティブシニア)をはじめ、技能実習外国人介護職員及び若年層などを活用していくため、法人内制度を含めた職場環境を整えます。

また、専門職による総合事業の地域展開促進並びに地域の独居高齢者、子育て世帯及び経済的に困窮する者等を支援するため、社会福祉法人らしい多機関連携の福祉サービスを積極的に提供し、地域に貢献します。

◆特養ホーム

「寄り添って暮らそう」をモットーに、職員一人ひとりが「かわり・つながり・結びつき」を意識し、願う自立を叶える個別サービスの提供に努めます。

ホームで住人さんが充実した人生を送るために弥富市歯科部会の協力のもと、歯科衛生士を中心に口腔ケアを充実させ、経口摂取にこだわるなど生命の尊厳に十分配慮しながら、その人らしい人生の最期をどのように迎えるか職員全員で考え取り組みます。

最期を迎えていただく看取りケアについては、チームケアをより活性化させ、体制を整備し、また、新興感染症や南海トラフ巨大地震をはじめとした各種の自然災害が発生した場合でも、利用者に必要なサービスが安定的かつ継続的に提供されるBCP体制を活用し、地域住民様と合同訓練の実施を行うことにより、実践的な体制づくりをすすめます。

地域とのつながりにおいては、認知症地域支援推進員を中心にいっしょにカフェなどを開催し、認知症でも安心して暮らせることができる地域づくりに努めます。

◆通所介護(デイサービス)

「笑い合い・見つけ合い・楽しみ

合い・助け合い、意義ある日々を共に」をモットーに、社会福祉法人らしい事業所として、利用者、ご家族、地域に喜んでいただけるサービスの提供に努めます。利用者ご家族が、個々に抱えている悩みや不安の解消・軽減を図り、家族への働きかけや問題解決にあたるほか、必要がある場合には他のサービスと連携、調整を行います。併せて、介護ロボット機器及びICT等の活用により、DX体制を整え、生産性向上業務の効率化をすすめ、より多くのご利用者の受け入れを積極的に行います。

◆居宅介護支援

地域でのセーフティネット事業所として、利用者、家族の相談に対応すべく24時間連絡体制を継続し、困難事例等にも積極的に対応します。また、相談や依頼の一つ一つに誠意をもって対応し、事業所全体で支えられる体制を整備していきます。弥富ケアマネ会を充実させ、人材確保、地域連携を拡げます。

◆共同生活援助

(わじゅつの家結い)

利用者及びその家族の願いやニーズを基に事業を進め、「利用者・家族の笑顔、地域の皆さんの笑

顔、職員の笑顔」を絶やさず育むことを大切にするグループホームを目指します。

そして、わが事丸ごとの地域共生社会、重層的支援体制とは何かを考え、世代を超えた直面する困難ごと・生きづらさの多様性・複雑性から表れる支援ニーズとの間にギャップが生じてきたことに対し、利用者・家族・職員間で日常的に共に学び、育みあい信頼関係を深めていきます。

◆おわりに

当法人は、1992年6月に市民の総意で設立された経緯を念頭に、弥富市を中心に地域にとつてなくてはならない社会資源として、役割を果たせるよう努めてまいります。

また、2030年を目標にした、全世界的取り組みであり、法人が所属する一般社団法人愛知県老人福祉施設協議会が推進するSDGsアクションの取り組み、「介護の力で人と地域が輝く未来」をキーワードにして、法人職員一人ひとりが資格取得などのスキルアップに励み、人間力アップをすすめます。

今後とも、地域の皆様の温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

入所者紹介

輪中の郷の新しい家族になられた方々を紹介します。

伊藤元邦さん



12月9日、いちよう・しらかばほーむの住人になられました。当初は緊張されていたのか不安な様子でしたが、少しずつほーむでの生活に慣れたようで、ご自身の部屋やホールを自由に行き来されています。以前はよく喫茶店へモーニングコーヒーを飲みに行っていたと教えて頂きました。日々の生活は希望をお聞きしながらお手伝いさせて頂きます。

体調に気をつけてお過ごしください。(田中まり子)



中山てるさん



12月23日、いちよう・しらかばほーむの住人になられました。まだほーむ生活に不慣れなところも見受けられますが、ご自身で出来ることはやられ、いつもとても素敵な笑顔をみせてくださいます。お話をさせて頂くと、「職員さんに親切にしてもらえて嬉しい」声をかけてもらえて嬉しいと言っています。

これからの充実した日常生活が過ごせるように、お手伝いさせていただきますので、よろしくお願いたします。(鈴木芳樹)



久野正弘さん



1月6日、いちよう・しらかば
ほーむの住人になりました。

ショートステイご利用の頃より
関わりを持たせて頂いていました
が、住人になられてからもご縁あ
つて担当となりました。自宅と違
い不慣れな部分もあると思います
が、一つでも多く自立した日常が
送られ、気兼ねなく過ごして頂け
るよう支援していきます。そして
日頃の他愛のない会話も楽しみの
ひとつとして、接していければと
思います。

これから多くの笑顔が見られ
るよう、生活のお手伝いをしてい
きますので、末永く宜しくお願
いいたします。
(伊藤佳樹)

比尾野ふ志子さん



1月18日、いちよう・しらかば

ほーむの住人になりました。

お話するのが好きなようで、入
所後に近くにいる方や職員に声を
かけられ、笑顔で楽しそうにお話
をされているのが印象的です。

以前よりショートステイを利用
されていたこともあり、ほーむで
の生活も不安な様子等はなく過ご
されています。お食事の時折、「こ
れおいしいね」と食べている様子
も伺えます。

これから段々暑くなってきました
ので体調に気をつけ、元気に過ご
していきましょう。
末永くよろしくお願ひいたしま
す。
(小木曾翔二)

水野麻子さん



1月27日、いちよう・しらかば
ほーむの住人になりました。

当初は、落ち着かずソワソワさ
れることがありましたが、今では
ほーむの生活にも慣れたたの
か、仲の良い方もでき楽しそうに
過ごされています。一時的に体調
不良な時もありましたが、最近
はホールで談笑されている時間が増

えてきました。

暖かい日には一緒にお散歩に出
かけたりしましょうね。
(田畑 徹)

江崎智子さん



2月22日、けやき・くすのきは
ほーむの住人になりました。

当初は、緊張と不安があったよ
うでしたが、少しずつ職員と会話
をすることが増えてきて、今では
笑顔もみられます。まだ同じテ
ブルの方とは、あまり会話をされ
ていませんが、職員が間に入り緊
張や不安を少しでもなくしていけ
たらいいと思っています。

また、一日の気温の変化も激し
く、季節の変わり目で体調を崩し
やすいので気をつけてください。
まだ慣れないことやわからないこ
ともあると思いますが、職員がし
っかりサポートしていきますので
末永く元気にお過ごしください。
今後とも宜しくお願ひいたしま
す。
(足立大和)

濱口月子さん



2月24日、いちよう・しらかば
ほーむの住人になりました。

初めの頃は少し不安な表情をさ
れているように感じましたが、次
第に笑顔がみられるようになりま
した。話をするのが好きなよう
で、入所後すぐに近くにいた方と
ニコニコ話され、とても笑顔がす
てきな方です。まだ、ほーむ生活
に慣れていないと思いますので、
全力でサポートさせていただきます。
体調を崩さず元気にお過ごし
ください。

これからよろしくお願ひいた
します。
(レティチン)

森下とし子さん



3月4日、いちよう・しらかば
ほーむの住人になりました。
テレビをみたり、住人さんとお

話したり、洗濯物を畳んでいただいたりして、日々過ごされていきます。ホーム内の行事やレクリエーションにも積極的に笑顔で楽しそうに参加され、毎日の食事もしっかり食べられており、職員も嬉しく思います。

これからだんだん暑くなつてきますが、体調に気をつけて元気にお過ごしください。

末永くよろしくお願いいたします。
(白石龍之介)

貞瀧慶子さん



3月11日、いちよう・しらかばほーむの住人になられました。

人と話す事が好きで、誰とでも分け隔てなくお話をされ、周りを笑顔にさせてくださり、一段とホールが賑やかになりました。

また、「食べるのが好き」と言われるので、食事レクリエーションや誕生日会などで美味しいものを食べていただけるよう心がけます。今年の寒い時期が終わり、だんだん暑くなりますが、脱水など体調を崩すことなく過ごせるようサ

ポートさせていただきますので、これからもよろしくお願いいたします。
(大津拓真)

石川スマさん



3月16日、けやき・くすのきはーむの住人になられました。

以前よりショートステイを利用していただいていたため、職員のことも分かかってみえ毎日穏やかに過ごされ、普段から何かにつけ「ありがとうございます」と言ってくれます。

今回「写真を撮りたいので笑顔でお願いします」と声をかけると、「こんなんでよいのか」と言いながら、満面の笑顔をしてくださいます。これから楽しいことを一緒にしましょうね。

末永くよろしくお願いいたします。
(佐藤美帆)



物故者慰霊法要



4月6日(日)、五之三町金樹寺小山住職をお迎えし、昨年度故人となられました方々の慰霊法要を執り行いました。

令和6年度は23名の住人さんをお見送りさせていただきました。当日はホームの周りの桜も満開で、とても良い日となりました。残念ながら都合が合わず参列していただくことができなかったご家族もありましたが、住人さんもお参列していただき、多くの方とお参りすることができました。

一年は長いようであつという間に過ぎてしまいますが、ご家族にお会いすると住人さんと過ごした日々が昨日のことのように思い出されます。

人生の最期の時間を共に過ごすことができたことに感謝し、これからも職員一同より一層励んで参りたいと思います。
(伊藤 篤)



バリエルダ

ヘネディナペナ



フィリピン出身です。EPAとして日本に来て16年になりました。2月より輪中の郷で働かせていただいております。

私は利用者様とのコミュニケーションを大切にしたいと思っています。そして、より良い毎日を過ごしていただけるよう貢献をしていきたいです。

新しい職場、新しい環境で、まだ慣れていないので至らない点が多いと思いますが、ご指導いただきますから一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

(輪中の郷介護福祉士)



寺本純也

4月から働かせていただいております。

私は、弥富福祉会の理念に魅力を感じ、輪中の郷を選びました。高校では福祉科で学んでおり、実習時友人が輪中の郷で行っていたので聞くと、「とても職員の方は優しく、かつたし、わかりやすく教えてくださった」とのことでした。就職先を考えるにあたり、先生にも相談しいろいろ調べていくうちに将来輪中の郷で働きたいと思い、採用していただきました。

私は、社会人一年生で右も左もわからなく不安でいっぱいですが、頑張りますのでよろしくお願いたします。

(輪中の郷介護士)

♥ 新入職員紹介 ♥



松田 柚実

4月より、生活相談員として勤務させていただいております。

前職では介護施設の介護士として3年程働いてきました。働く中で、利用者様や家族様と密接に関わる生活相談員の仕事に興味を持ち、当法人で働くことを決めました。

オリエンテーションを終えて、弥富福祉会の職員として、ふさわしい姿勢や態度を学ぶことができました。また、自立支援とは何か、意思決定支援とは何かについて理解を深めることができました。

今後働いていく上で、利用者主体の支援ができるように、利用者様一人ひとりの思いや考え方にしっかりと向き合っていきたいと思っています。そして、現状に満足せず、新たな知識や技術を増やしていけるように、日々努力したいと思います。

精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

(輪中の郷生活相談員)



大塚 友香

この度、輪中の郷で勤務させていただくことになりました。

これまで有料老人ホームでの勤務経験はありますが、プランクが約4年あるため基礎から一つ一つ覚えていきたいと思っています。

また、利用者様一人ひとりとたくさんコミュニケーションをとり、求めていることを少しでも汲み取れるようになっていきたいです。そのように、日々のコミュニケーションを大事にして接していくことで少しでも早く信頼関係を築いていけたらと思います。

そして、介護職員の方々だけでなく、他職種の方々とも協力し合って一人ひとりに寄り添った介護をしていきたいです。

精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

(輪中の郷介護士)

永年勤続職員表彰

令和7年1月1日現在で、30年・20年及び10年以上勤務の次の職員に対し、社会福祉法人弥富福祉会永年勤続職員表彰規程に基づき、理事長から表彰状と記念品が贈呈され、お祝いと労いの後、これからも精進し法人事業の進展に寄与してもらいたいとの言葉がありました。



上段左から 小木曾翔一、水谷 薫、伊藤繁昭、松岡裕子、辻内達夫
下段左から 炭竈みどり、伊藤公一、瀧崎 徹

◆30年表彰

●社会福祉法人弥富福祉会
事業部長(輪中の郷施設長)
伊藤 公一

◆20年表彰

●特別養護老人ホーム輪中の郷
主任専門員(栄養士)
炭竈 みどり

左から、
犬飼靖子、川村高重



◆10年表彰

●特別養護老人ホーム輪中の郷
主任専門員(介護福祉士)
小木曾翔一

介護士 瀧崎 徹

介護福祉士 水谷 薫

介護福祉士 伊藤 繁昭

栄養士 松永恵美子

●デイサービスセンター輪中の郷
技能作業員 辻内 達夫

●弥富市デイサービスセンター
介護士 松岡 裕子

弥富市南デイサービスセンター
調理員 犬飼 靖子
技能作業員 川村 高重



松永恵美子



ホーム入所選考結果

3月17日(月)に、第73回入所選考委員会を行い、要介護3以上の方について次表のとおり待機者名簿に登載し、早期入所希望者に入所順を通知しました。

	名古屋市	愛西市	弥富市	蟹江町	桑名市	木曽岬町	計
男	1	1	29	1	0	1	33
女	1	0	52	2	2	5	62
計	2	1	81	3	2	6	95



握り寿司

3月10日(月)、毎年恒例のイベント食「握り寿司」を住人さん、ショートステイ、デイサービスの利用者さんに提供しました。

握り寿司のネタはまぐろ、穴子、えび、サーモン、たまごの5種類です。刻み食とソフト食、ミキサー食の方にもそれぞれの食事形態に合わせたお寿司を用意しました。

皆さん、握り寿司がお好きな様子で「おいしい」「おかわり下さい」と笑顔でおっしゃっていました。おかわりを5種類全部される方もみえました。「お腹いっぱいになったよ」「お寿司が好きなんだよね」という声を耳にするとこちらまで笑顔になりとても嬉しかったです。

イベント食を皆さん楽しみにされている様子を見て、季節を感じるイベント食を色々提供していきたいと思いました。



常食



ソフト食



ミキサー食



わじゅの家族結い

「結いでの生活」

今年に入り祭日は、10名ほとんどの方が利用されています。

祭日イベントは、皆さんの好きな食べ物レクを行っています。

2月は祭日が2日あり、「この日は何する?」と聞かれるので、すごく楽しみにしている様子がわかります。

11日はバレンタインデーに合わせてチョコ作りを行いました。また、焼きそばレクも「おいしい、おいしい」と食べられていました。食事の後は、社教センターまで散歩に出かけ、2人ペアになり相手のペースで歩くこともできるようになりました。



3月はバスタレク、誕生会を行いました。皆さん、口のまわりにミートソースをつけて、たくさん食べられました。

結いのリビングには、イベントの写真がたくさん貼ってあり、写真を見て「クリスマス会楽しかったね」「芋掘りでたくさん大さきの取れたね」など思ひ出話に花が咲いています。

家族様も写真を見られ、「良い笑顔で過ごしている。安心だね」と言う声も聞けて、職員も嬉しく思います。

これからも、皆さんの笑顔がみられるように、職員一同援助していきます。(吉田智美)

デイサービスセンター輪中の郷

「花見ドライブ」

寒さが和らいできた3月末から4月初めにかけて、桜の花見ドライブに行ってきました。最初に行ったのは「しだれ桜」

車内から満開の「しだれ桜」が見えてくると、皆様食い入るように眺めていました。そして、車から降りて桜をバックに記念撮影。カメラを向けると少し照れくさそうにしてみえましたが、皆様良い笑顔でした。



次に向かったのは、有名な鍋田川堤桜並木。桜のトンネルを通ると、「わあー凄い!」「良い時に来たわ。来て良かった」と歓声があがり、とても喜んでみえました。皆様の喜んでいる姿を見ることができ本当に良かったです。

これからも利用者様に沢山の思い出ができるように、取り組んでいきたいと思っています。

(鈴木美月)

弥富市デイサービスセンター

『家族会』

当センターでは、定期的に家族会を開催しております。今回はおやつ作りで、「さつまいもの茶巾絞り」を作りました。昨今、感染症対策などによりおやつ作りが出来なかったこともあり、今回は特別皆さんの気合いも入っていたことでしょう。

下準備は調理職員が行い、さつまいものを潰してペースト状にするところからスタートです。この作業が見た目以上にハードなもので、少しずつ交代しながら進めていきました。途中、ご家族の方の手をお借りしながら次の工程へ。砂糖・塩を加え、更に練って少量味見をしてみると、「うわあもう美味しいわ」と聞こえてくる声が・・・

味がしっかり整った所で今度は形を整えていきます。ラップの上にスプーンひとさじ分を乗せ捻る、少し指先を器用に使う作業でしたが、皆さん上

手には昔、和菓子屋さんで修行されていたのではないかと云わんばかりのスピードと綺麗さで、形を整えている方もみえました。あとはオシャレな皿に盛り付けて完成です。と思いきや、途中で我慢できず先に食べました。が無事完成です。やはりご自分の手を加えたおやつは、格段美味しく感じるのでしょうか？皆さんから「美味しいわ」と幸せそうな声が聞こえてきました。

今回の家族会も、ご家族様との意見交換や情報共有が出来て、とても有意義な時間となりました。また次回も皆様のご参加をお待ちしております。

(宮田大輝)



弥富市南デイサービスセンター

『寿司パーティー』



り分けて回っていました。皆さんの食べている表情は幸せそうでした。「家では食べないから美味しい」と何度もおかわりする方や、「昔はよく作っていた」と話される方もみえました。今では外食が多くなり、食べる機会が減っているのだと思います。いつもの食事も「美味しい」と言ってくださり、嬉しく思います。皆さんが食べてくださることが何よりです。

今後も四季折々で楽しんで頂けるイベントを考えていきたいと思っています。(村瀬明美)



少しずつ春に近づいてきていると感じる春分の日、年に一度の寿司パーティーを開催しました。当日はたくさんさんの参加で調理職員も朝から準備に大忙し。ホールでは利用者の皆さんも楽しみにされていました。

マグロ・穴子・サーモン・エビ・玉子・巻き寿司と色とりどりで、テーブルごとに職員が取

台所の薬草

二十四節気



太陽の動きを基準に、一年を24等分して季節を表す言葉です。一年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つに分けることで一年を二十四に等分し、それぞれの季節に相応しい名前がつけられています。

古代の中国でつくられたとされる暦のため、実際の季節感にズレが生じますが、これから夏に向かう季節の言葉として、「立夏(夏の気配を感じる)」「小満(気温・湿度が高まり草木が茂る)」「芒種(稲などの穀物を植える)」「夏至(一年の中で昼間が一番長くなる日)」「小暑(本格的に暑くなる)」「大暑(暑さの極み)」があります。

地球温暖化による気候変動で春

や秋を感じられにくく、夏は猛暑、冬は極寒となりつつある今日この頃です。ここで紹介している旬の食材は、その時期に身体が必要としている栄養を含んでいるため、栄養が高まる食材です。

新年度が始まり忙しい季節ではありますが、これからも春夏秋冬の旬の食材が美味しく頂けるように、私たちができる地球温暖化対策と二十四節気に表されている季節の移り変わりに少し気持ちを向けて頂けると幸いです。

(星野芳江)

亡くなられた方々

- ・大森壽子さん 九十四歳
令和六年十二月九日
- ・辻 有里さん 九十八歳
令和六年十二月十二日
- ・水谷美代子さん 八十三歳
令和六年十二月十四日
- ・白木徳雄さん 九十五歳
令和七年一月一日
- ・伊藤ひさ子さん 九十三歳
令和七年一月二十日
- ・酒井節子さん 九十一歳
令和七年一月二十三日
- ・松原美代子さん 八十八歳
令和七年一月二十八日

ご寄付
ありがとうございます
ございました

12月1日～3月31日

- ・弥富市南地区民生
- ・児童委員協議会様
- ・木下たづ様
- ・奈良明美様
- ・伊藤久幸様

- ・吉村光枝さん 百三歳
令和七年一月三十日
- ・渡邊清子さん 九十歳
令和七年二月二日
- ・佐藤千代子さん 九十六歳
令和七年二月七日
- ・茂野紀恵さん 九十七歳
令和七年三月二十四日
- ・伊藤美江さん 八十七歳
令和七年三月二十七日
- ・伊藤敏江さん 九十二歳
令和七年三月二十九日
- ・田中津矢子さん 八十九歳
令和七年三月三十日

皆さんの

ご冥福を

お祈りいたします。



編集後記

新年度になり新しい環境で生活を始めた方も多いかと思えます。新しい職場・人間関係など、慣れない環境に身を置くことになります。そこでこの時期によく聞く、五月病について話をしたいと思います。

五月病というのは、大きな環境の変化を迎えた人が、慣れないことやストレスが原因で食欲・集中力低下、身体のだるさ、疲れやすいなどの症状が出てきます。うつ病と似た症状ですが、五月病は一過性であると言われていきます。しかし長期化してしまうと、うつ病へ移行することがあるため、注意が必要です。

もし、「身体がだるい」「食欲がない」などの症状が続くようなら、身近な人に相談してみてください。せつかくの新生活を五月病で台無しにするのは勿体無いですから。

新生活を始めた皆様、無理せず身体第一に頑張ってください。

(西村祐紀)

